



いっぺいといっぱく

市長のまちづくりにかける想いを市長の語り口でお伝えします。
市HP「によぜがもん」もぜひご覧ください。

Vol.77 時間の使い方が分からない子ども達

新型コロナウイルス感染症対策のため、3月から5月まで学校の長期休校が続きました。その間、保護者からは、「子ども達が、やる事がなくてストレスがたまっている」という声が聞えました。

「子ども達が、やる事がなくてストレスがたまる」と聞いて、私は少し違和感を覚えました。本来、子どもには、自分で工夫して遊びを見つける能力があるからです。身近に自然があれば、小さな頃なら地面の砂を集めて、ひたすらお山を作ったり、雑草で引っ張りあっこをしたり。家の中でも身近にある新聞紙を丸めたり、食器をカチャカチャならしたりと子ども達は、与えられたゲームやおもちゃがなくても、遊ぶことができます。

しかし、学年が進むにつれ、計算や漢字のドリル、習い事など、次から次へと「やること」「やらされること」を与えられ、いざ、自由に使える時間ができても、時間の使い方が分からず、誰かからの指示がないと動けない状態になってしまっているのだと思います。

昨年に私は、東京都千代田区立麹町中学校に出向き、^{こうじまち}工藤勇一校長の話を聞きました。工藤校長は、学校では当たり前とされる宿題や定期試験を止めるなど、さまざまな取り組みをされている方で、そのときも全国から100人近くが視察に訪れていました。

工藤校長の話の中で、次の言葉が特に印象に残りました。

「手をかければかけるほど生徒は自律できなくなり、自分がうまくいかないことを誰かのせいにするようになる」

工藤校長は、「学校がやるべきことは、生徒が自ら考え、判断し、決定し、自ら行動できる、つまり自律する力を身につけさせることだが、今の学校は手取り足取り丁寧に教え、壁にぶつかれば手を差し伸べる。このような教育を受けた子ども達は、大人になってからも、何か壁にぶつかると、『先生が悪い』『学校が悪い』『社会が悪い』と人のせいにするようになってしまう」とおっしゃっていました。

これを聞いて、私は、この考え方は、子どもだけでなく、大人にも当てはまることだと思いました。人生100年時代を迎え、定年後に続く長い時間は、誰の指示も受けず、自分でやることを探して、長い時間を過さなければなりません。高齢になって「指示がない」「やる事が無い」と嘆いても、誰も助けてくれません。子どもだけでなく、大人にも自律する力が必要な時代になっているのです。



ふれあい つながり みんなが楽しむまちづくり
こんにちは！西小学校区まちづくり協議会 検索 です。

西小学校区まちづくり協議会 総会延期

広報ながくて4月号にて、5月17日(日)に開催とお知らせしましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、延期しました。

開催日時は、広報誌「みんなの西まち」でお知らせする予定です。

合言葉は「定時に体操」

まずは、9時55分にテレビをつけて「みんなの体操」してみませんか。



☎0561-64-5331 西小学校区共生ステーション
nishi.no.machikyo@gmail.com

市が洞 市が洞小学校 イメージキャラクター
小学校区まちづくり協議会
<http://ichigahora.sakura.ne.jp/> (協議会HP)

■総会(書面表決)のお知らせ

4月に予定していた総会が新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催できなくなり大変ご迷惑をおかけしております。すでに各ご家庭に配布されておりますが、この度、他の事例など参考にしながら書面表決をもって進めさせていただきますので、ご了承いただきますようお願いいたします。

■今後の協議会活動の対応

ウイルス感染拡大の第2波の恐れも心配されておりますので、状況の推移を注意深く見守り、参加者の安心安全を最優先に活動の再開については慎重に見きわめていきます。活動が可能となり次第、万全の注意をもって対応していきます。

よろしくご理解ご協力をお願いいたします。

長久手市地域見守り安心ほっとライン

0561-63-5556

24時間
365日受付

ご近所で「いつもと違う」と気づいたときはお電話ください